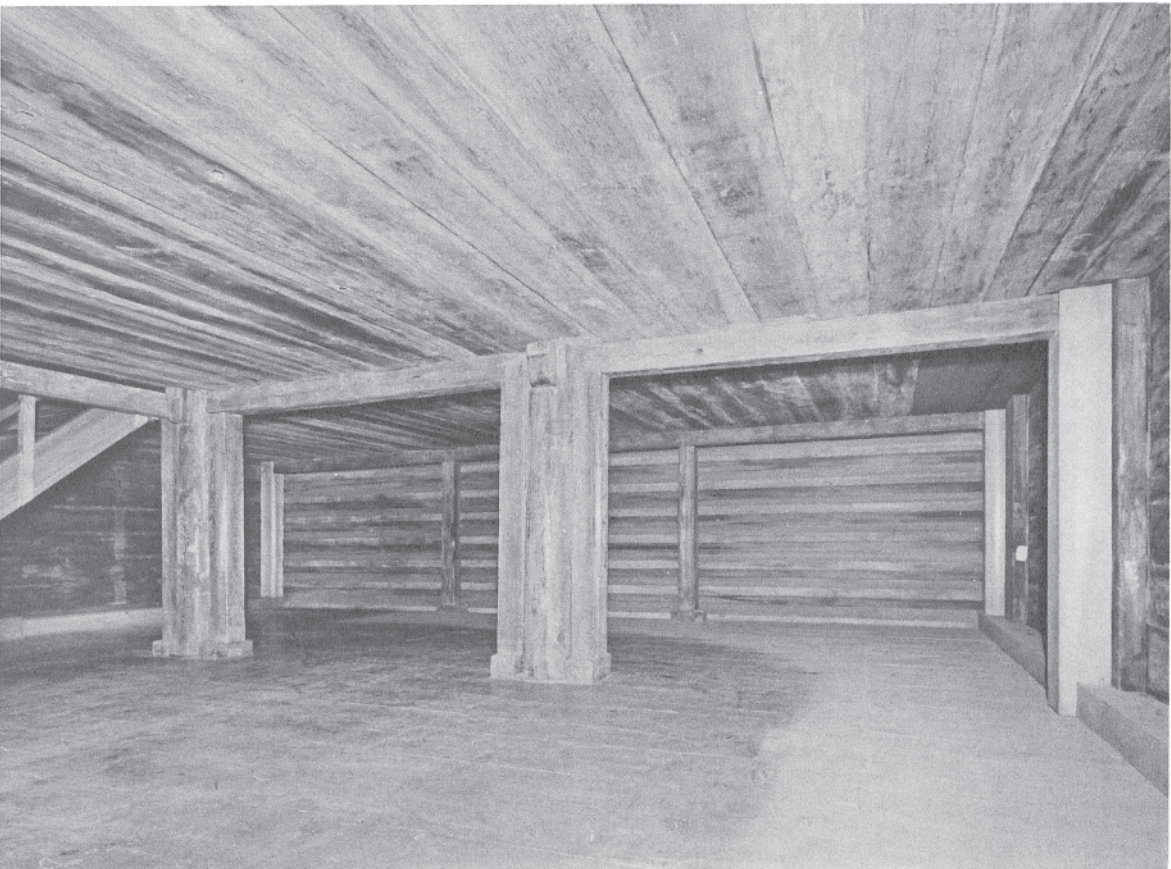




93 ガラス戸付陳列棚解体後の中倉一階北面
西南より見る。北倉南面の校木の外側が見えている。校木前の両端の柱は大正修理時のものであるが、中間のものは当初あるいは創建後かなり早い時期に入れられたものである。



94 ガラス戸付陳列棚解体後の中倉一階南面
西北より見る。南倉北面の校木外側が見えている。校木に風蝕を受けた様子は見られない。



95 ガラス戸付陳列棚解体後の中倉一階西面
東北より見る。中倉の西面には両端校木脇に柱が立ち、その間は羽目板になる。西面の柱には根継が施されていた。



96 ガラス戸付陳列棚解体後の中倉二階南面
東北より見る。南倉大梁から中倉側にかけた妻梁は、中倉の大梁までは届かず、途中で途切れる様子がわかる。



97 ガラス戸付陳列棚解体後の中倉二階西面及び南面
東北より見る。北倉からかかる妻梁にも南倉からかかる妻梁にも、その先端に丸桁があった仕口の痕跡は見られないことから、正倉が「当初は二棟であった」という説は否定される。



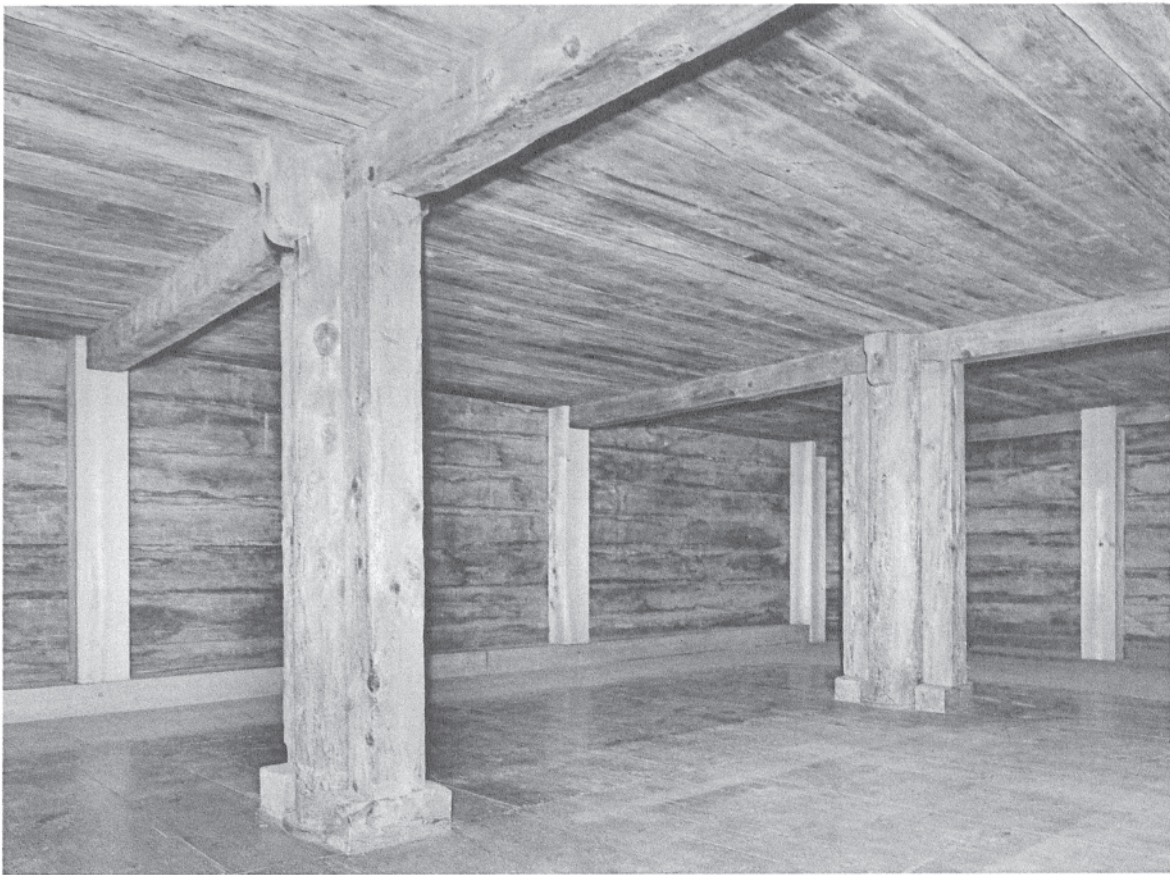
98 ガラス戸付陳列棚解体後の中倉二階北面
西南より見る。



99 ガラス戸付陳列棚解体後の北倉一階南面
北より見る。



100 ガラス戸付陳列棚解体後の北倉一階北面
南より見る。一階の外に面した壁面には、雨染みの痕跡が多い。



101 ガラス戸付陳列棚解体後の北倉一階西面
東南より見る。



102 ガラス戸付陳列棚解体後の北倉二階南面及び東面
西北より見る。北倉大梁から中倉側にかかる妻梁の様子がよくわかる。



103 ガラス戸付陳列棚解体後の北倉二階北面及び東面
西南より見る。手前に見える四天柱西面には、元禄六年（1693）の墨書がある。



104 ガラス戸付陳列棚解体後の北倉二階西面
東北より見る。